



ご自由に お持ち下さい



# 支援室だより

～北区障害者地域自立生活支援室より～

第1号

2003年7月発行

## ミニ福祉機器展、開催！

6月22日（日）、ミニ福祉機器展を開催しました！

出展企業はスペースの関係で10社が出展、来場者も200人程と、予想以上の盛況でした。ありがとうございました！



## ミニ福祉機器展出展企業

ミニ福祉機器展にご出展いただいた主な企業は以下のとおりです。

企業名	主な出展商品
三和化学研究所	ごっくんゼリー他、食品
テクノグリーン株式会社	子ども用の上下する車イス
夢靴	カバーシューズ
バリアフリー子供服	脱ぎ着のしやすい子ども服
(有)ジェイ・アイ・シー	ラクスター
大活字	視覚障害者用グッズ
(株)マックス・エアサービス	バリアフリー旅行
アジア旅行	バリアフリー旅行
ファイン	簡単に靴下をはけるグッズ・他
NPO法人北区地域情報化推進協議会	スピーチオ

その他、日常支援グッズや、福祉用具を満載したカタログ（M&Rる一む、他）なども出展されました。

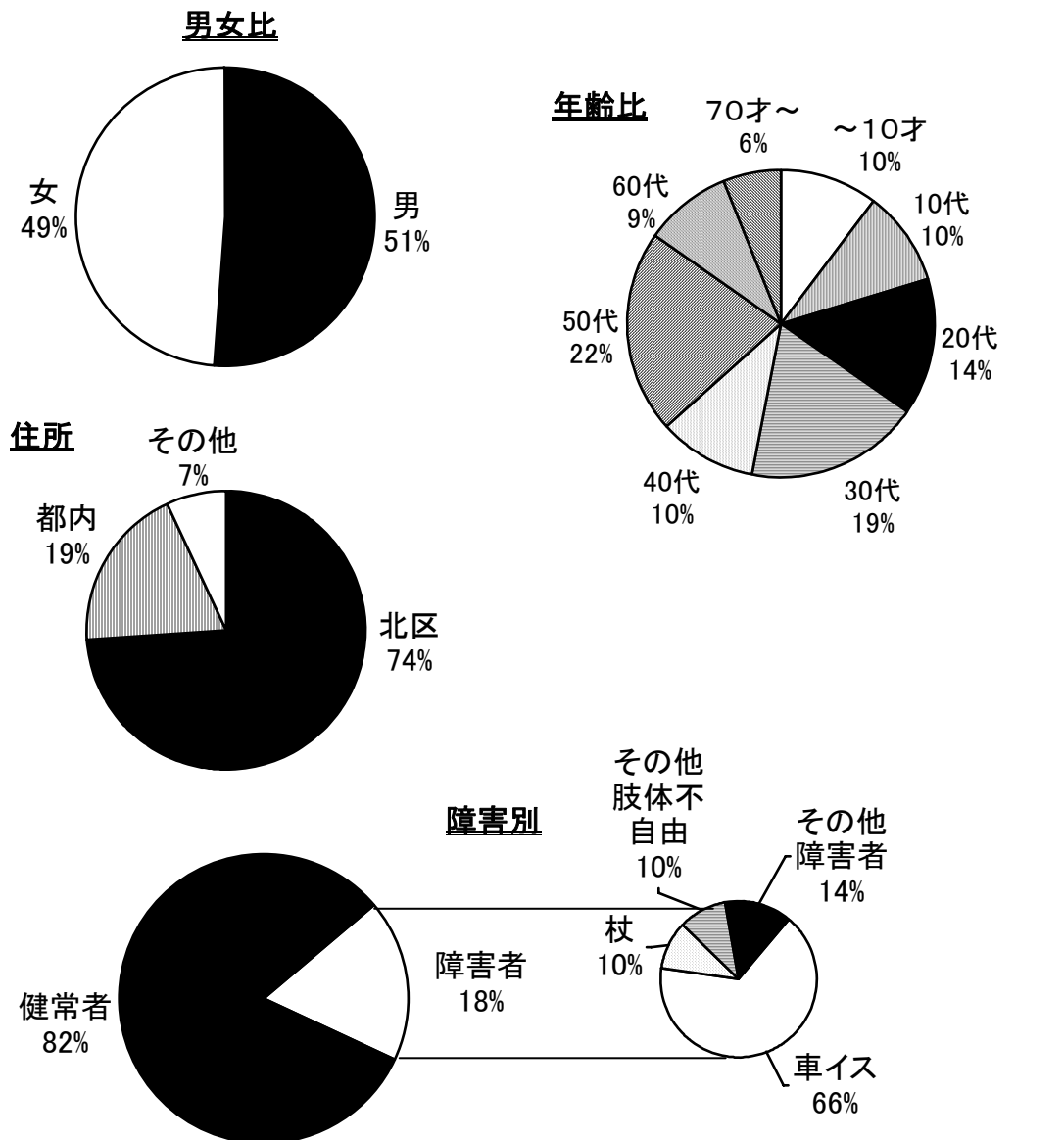
ミニ福祉機器展終了後、ご来場くださった方のなかには、さっそく各企業と連絡を取り合い、製品を注文したり、ご自分に合うよう改良する手はずをとっておられる方もいらっしゃったようです。

上記企業の連絡先をお知りになりたい方は、支援室までお問い合わせください。



## ミニ福祉機器展来場者

ミニ福祉機器展にご来場くださったみなさんについて、アンケートなどをもとに、まとめて見ました。



男女別・年齢別を見ると、いろいろな方にまんべんなく来ていただけたようで、うれしく思います。当然のことながら、北区在住の方が圧倒的です。

今回は子ども向けの商品が目立ったためか、ご家族づれに数多くご来場いただきました。そのため、来場者数は、当事者よりも健全者のほうが断然多くなったようです。

今回は車イスの方々に数多くご来場いただきましたが、今後は視覚・聴覚の当事者の方々をメインに考えた福祉機器展の開催も考えております。

## ミニ福祉機器展アンケート集計

ミニ福祉機器展にご来場くださった皆様にお書きいただいたアンケートの集計ができましたので、ご報告します。

### 1. ミニ福祉機器展開催を何で知られたか

①ポスター、チラシ	31.6%	②支援室だより	14.5%
③北区ニュース	14.5%	④ボランティア通信	2.6%
⑤知人	23.7%	⑥その他	13.2%

☆やはりポスターやチラシを見て、来てくださった方が多いです。でも、支援室だよりを見てくださった方が北区ニュースと同じだけいたのは、うれしかったです。

### 2. ミニ福祉機器展にいらした感想

①非常によかった	32.1%	②よかった	53.6%
③まあまあ	14.3%	④よくなかった	0%

☆みなさん、気に入ってくださって、よかったです！

### 3. 興味をひかれた機器

①車椅子	28.0%	②バリアフリー仕立ての洋服	15.0%
③介護食品	21.0%	④バリアフリー旅行	22.0%
⑤その他	14.0%		

☆どの出展物にも、均等に興味が集まったようです。

### 4. 北区障害者自立生活支援室について

①知っていた	54.4%	②知らなかった	45.6%
--------	-------	---------	-------

☆知っていてくださる方のほうが多くて、ホッとしました。でも、もっともっと知られないといけませんね。

### 5. 感想

☆ご記入いただいたご感想には、

「新しい情報や機器に触れられた」

「希望するものに出合った」

など、好評なものが多く、ミニ福祉機器展を開催してよかった……と実感しています。

その一方で、

「子どもを対象としたものが多かったので、もっと高齢者むけのものもやってほしい」

「どんな機器が展示されるのか、事前に知らせてほしい」

などのご意見もいただきました。今後の課題として、改善していきたいと思います。

アンケートにお答えいただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。

次回ミニ福祉機器展開催に向けて、「こんな機器を展示してほしい」などの要望がございましたら、支援室までドンドンご提案ください。

## 耳より情報

今年も「国際福祉機器展」が10/15(水) 16(木) 17(金)に東京国際展示場(ビッグサイト)で開催されます。午前10時から午後5時まで、入場は無料です。

埼京線を利用される方は、りんかい線に乗り入れる電車に乗ると、乗り換えなしで行けます。「国際展示場」下車、徒歩5分です。京浜東北線を利用される方は、新橋駅でゆりかもめに乗り換えてください。「国際展示場正門」下車、徒歩2分です。有料駐車場もあります。

## 講師派遣

6月19日(木)、区内の小学校が実施している「総合的な学習の時間」への協力の一環として、近藤(車椅子使用者)と吉田が北区内の小学校にお邪魔して、生徒の皆さんとお話させていただきました。近藤亜弓がその時のことをご報告します。

小学校にお邪魔したときの感想

近藤 亜弓

今回は、事前に分かれているグループへ入れていただき、生徒さんからの疑問に答えるといった形で行なわれました。開始されるや否や予想以上のたくさんの質問が出てきました。例えば、「放置自転車やゴミについてはどうしてほしいですか?」、「駅でエレベーターがない時には



どうやってホームまで行くのですか?」など小学生ならではの視点から率直な質問が数多く出されました。中には解答に困る難しい質問もあり、私のお答えで納得していただいたかどうか不安です……参加された生徒さんは終始、耳をすませ、一生懸命にメモを取っていらっしゃいました。

大勢の前でお話させていただくのは久々でしたので

緊張の連続でしたが、貴重な経験をさせていただきました。普段の生活のことでも、回答しながら、「そういうことだったのか!」と自分自身のことを改めて理解することができました。

これまで生徒さんの多くは、車イスに乗ってる人を見かけても、声をかけにくいという状況だと思います。今回を機に「車イスの人と、これから何を喋ろうかなあ〜」と思っていただければ幸いです。また、車イスの人に限らず、耳や目などに障害がある人達が学校を訪れて、障害者についてより理解を深める活動が出来れば嬉しいと思います。短い時間でしたが、どうもありがとうございました。一緒に住みよい北区をつくっていきましょう!

## ご存知ですか？ 交通バリアフリー法

平成12年5月17日に公布され、11月15日に施行された **交通バリアフリー法**をご存知ですか？ 高齢者や障害者が利用しやすいように、バス・電車・船舶・飛行機などの駅／ターミナルや、その付近の施設、道路などをバリアフリー化する（高齢者や障害者の方々に使いやすくする）ための法律です。

2010年までに、

- ①エレベーター／エスカレーターの設置
- ②身体障害者用トイレの設置
- ③車両のバリアフリー化（ノン・ステップバスの導入など）
- ④視覚障害者のための誘導ブロックの整備
- ⑤音響信号機の設置
- ⑥視覚・聴覚情報の提供（電車の行き先などを電光掲示板で知らせる等）
- ⑦段差・隙間の解消

などが推進されます。ただし、1日の利用者数が5,000人以上の駅／ターミナルや、それらと同じくらい障害者等の利用が見込まれる駅／ターミナルが対象です。

詳しくは国土交通省のホームページに掲載されているパンフレットをご参照ください。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/kaisetu/kaisetu\\_.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrier/kaisetu/kaisetu_.html)

また、各駅のバリアフリー度は「らくらくおでかけネット」

<http://www.ecomo-rakuraku.jp/rakuraku/index/>

で、検索することができます。（家などで御覧になれない方は、支援室まで事前にご連絡いただければ、御覧になることも出来ます。）

6月18日の新聞によると、該当する駅の4割が、「車イスで駅の改札からすべてのホームに段差なく移動できる」ようになったとか。でも、まだまだ介助が必要な駅は多いです。

ちなみに、スクーター似の「ハンドル型電動車いす」も、バリアフリー駅では利用OKになったそうです。ただ、電車に乗る駅がバリアフリー駅で「ハンドル型電動車いす」で乗りこめても、降りる駅がダメ、ってこともありますから、気をつけないといけません。

支援室では、駅の大小にかかわらず、実際にいろいろな鉄道や駅を利用してバリアフリー度を調べ、ご報告する予定です（特に北区内について）。先日、電動車イスを使っている近藤が東北新幹線で青森に行く機会がありましたので、そのとき利用した東北新幹線大宮駅、青森駅について、ご報告します。

JR大宮駅にはエレベーターがなく、駅員さん2人がかりでエスカレーターに乗せていただきました。



八戸と青森を結ぶ特急「白鳥」の出入り口には段差があり、駅員さん5人がかりで持ち上げていただきました。

東京のJRや私鉄などに乗る時には、簡易型スロープがあります。青森駅にも何か工夫していただき段差をなくすことは難しいのでしょうか？



青森駅にはエレベーターはありますが、普段人の通ることのない裏道を通り抜けていくので荷物などがたくさんおいてあり、薄暗いところを通りました。





新幹線には「車イス用トイレ」がありましたが、電動には少し狭かったです。



3人がけの座席には車椅子1台が止められるスペースが設けられており、車椅子固定用の設備も完備されていました。ただ、ワゴンなどが通る際はギリギリでした。また前方のテーブルを使用すると、車イスのレバーに当たり、使用することができませんでした。

日本の鉄道は、世界に誇る乗り物です。もっともっとバリアフリーが進んで、障害者にも乗りやすくなって欲しいと改めて思いました。

## 編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から、「支援室だより」第1号を発行することができました。これもひとえに皆様のおかげです。これからも、どうかよろしくお願ひします。

\* \* \* \* \*

王子保健センターで骨粗しょう症の検査を受けました。右足の靴下を脱いで機械の上に乗せるだけ、ほんの数秒で終わりです。結果はなんと、「スカスカ」でした。歩かない（歩けない）と足に加重がかからなくて、骨が強くないみたいです。カルシウムは積極的にとってるつもりなんですけど、障害者って思わぬところで苦労しますね～。（くるみ）

### 北区障害者地域自立生活支援室【相談窓口】

〒114-0032 東京都北区中十条1-12-18 障害者福祉センター1階

TEL : 03-3905-7225 TEL・FAX 兼用 : 03-3905-7226

E-MAIL : peernet@ma.kitanet.ne.jp

開所日時 : 月～金 10時～19時 土 10時～17時

\*日・祝・年末年始は休み

毎月第2土曜日午後1時～4時に聴覚障害者の方々の相談をお受けします。

8月に限り23日（土）になりますので、お間違いなく！